

## 志田焼の里博物館

志田地区では17世紀後半から日常雑器の生産が行われていました。ここは志田陶磁器株式会社が大正時代に建てた工場をよみがえらせた博物館。焼き物作りの全工程の見学や絵付け体験ができます。巨大な石炭窯も必見。



MAP P11・C-1

☎0954-66-4640 ☎午前9時～午後5時  
☎水曜・年末年始 ☎塩田町久間乙3073  
☎30台 ☎http://www.shidayaki-museum.com

## 志田焼資料館



MAP P11・C-1

☎0954-66-2202 (志田陶磁器株式会社)  
☎午前9時～午後5時30分 ☎お盆・年末年始  
☎塩田町久間乙3242-3  
☎40台 ☎http://www.aritazr.jp/shida/

## 志田の蔵

志田焼商家の大正期の風格ある倉庫を改修した建物。昔の工場で作られていた火鉢などを当時の藁による荷造り姿のまま展示しているミュージアム。焼き物や小物などのショップ、貸しギヤラリーとして活用されています。



MAP P11・C-1

☎0954-66-2202 (志田陶磁器株式会社)  
☎午前9時～午後5時30分 ☎お盆・年末年始  
☎塩田町久間乙3242-3  
☎40台 ☎http://www.aritazr.jp/shida/

## 買う

## 金田鋸店

大正初期より鍛冶の技を伝承する老舗店。工具などが並ぶ店内の一角に、ナイフや包丁などのオリジナル製品を展示するギヤラリーが。刃物師が一本一本手作りで仕上げた逸品に、県内外から注目が集まっています。



MAP P11・F-5

☎0954-66-2431  
☎午前7時30分～午後8時 ☎日曜  
☎塩田町馬場下甲2049-2 ☎6台

## スタンドグラス工房 タツジ・マジ

スタンドグラス作家の山口和子さんが営む工房＆ギャラリー。ランプ、パネル、小物インテリアなど約120点が展示され、アート鑑賞が楽しめます。お茶サービスもあり、日曜なら3時間程度の体験もOK(要予約)。



MAP P11・C-2

☎0954-66-5548  
☎午前10時～午後4時(金・土・日曜のみ)  
☎月～木曜 ☎塩田町久間丙4735-2 ☎6台

## 見る

## 体験

## 鍋野手すき和紙工房

塩田町の紙すきの歴史は約350年前にさかのぼり、一大産業として繁栄しました。昭和40年代に一度途絶えましたが平成12年に復活し、平成15年にこの工房が誕生。見学や体験、和紙販売を通して、伝統技法を伝えます。



MAP P11・B-2

☎0954-66-2555 (塩田町商工会)  
☎午前10時～午後4時(日曜・祝日のみオープン)  
☎月～土曜・年末年始  
☎塩田町馬場下乙2176-1(鍋野) ☎あり

## 光桂寺仁王像

光桂寺の山門に立つ一対の仁王像。塩田町内にある仁王像の中でも最も古いもので、塩田石で造られています。肥前石工の平川与四右衛門と陣内善次良の合作で、石工の技を感じる力強い石像です。嬉野市指定文化財。



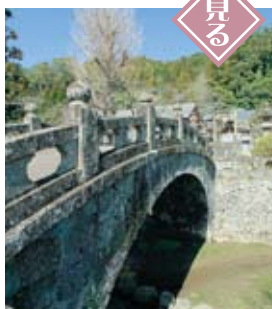
MAP P11・C-3

☎0954-66-2508  
☎塩田町塩田町五町田甲3449  
☎あり

## 見る

## 八天神社の石造眼鏡橋

火伏せの神として名高い八天神社にある全長約11mの石橋。幕末の頃、千二百年祭式年大祭を記念して塩田の石工たちが総力をあげて神橋として架橋し、嘉永7(1854)年に完成しました。佐賀県指定重要文化財。



MAP P11・D-3

☎0954-66-4205  
☎塩田町谷所乙766  
☎50台

## 吉浦神社の石造眼鏡橋

元禄13(1700)年再々建の銘があり、塩田石工の技が生きた塩田町最古の石橋。吉浦神社の参道にあり、橋を渡って170段の石段を登ると境内へ。そこから塩田町の中心部や有明海を一望することができます。



MAP P11・C-3

☎塩田町塩田町五町田甲4003  
☎和泉式部公園駐車場利用

## 和泉式部公園

緑いっぱいの高台に広がる公園。和泉式部のブロンズ像と歌碑が建ち、50mの草スキー場、自然林の中に遊具があるアスレチックの森、わんぱく広場などの施設も充実。自然と歴史が一体になったレジャーパークです。



MAP P11・C-3

☎0954-66-9124  
(嬉野市建設課管理グループ)  
☎塩田町塩田町五町田第1 ☎26台

## 見る

## 古代建築

和泉式部公園の中に作られた研修棟。古代建築に基づいた建物があり、縄文から平安まで継続して存在したといわれる竪穴式住居や高床式倉庫も復元されています。自然の中にたたずむ姿が古代へのロマンを誘います。



MAP P11・C-3

☎0954-66-9124  
(嬉野市建設課管理グループ)  
☎塩田町塩田町五町田第1 ☎26台

## ちよつと一服

## 「和泉式部伝説」

和泉式部は有明海沿岸地域にある福泉寺(現白石町)で生まれ、塩田郷の大黒丸夫婦に引きとられて育ちました。お許丸(おもとまる)と呼ばれた幼少の頃から器量も頭も良く、成長につれて誰に教わることもなく歌を詠み始めたといえます。通りかかった勅使の前で詠んだ歌が素晴らしく、9歳のときに京の宮廷へ召し上げられることになりました。その後、平安朝きつての歌人として紫式部や清少納言と並ぶ存在となったのです。